

流行性角結膜炎と咽頭結膜熱にご注意を！

令和5年7月19日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和5年第28週分・7月10日～7月16日)

《インフォメーション》

●流行性角結膜炎(はやり目)・咽頭結膜熱(プール熱)

流行性角結膜炎および咽頭結膜熱は、主にアデノウイルスによる急性感染症です。今年の県内の定点医療機関からの28週時点の流行性角結膜炎の累計報告数は22例であり、過去3年間の同時期と同程度です(2020年:15例、2021年:1例、2022年:18例;右上図)。流行性角結膜炎は小児に多い疾患ですが、成人にもみられます。1～2週間の潜伏期間の後に、結膜の浮腫や充血、まぶたの腫れ、目やに、涙が出るといった症状が出現します。

咽頭結膜熱は小児に多い疾患です。5～7日の潜伏期間の後に、発熱、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、咽頭痛、結膜充血といった症状が3～5日間程度持続します。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるため、「プール熱」とも呼ばれます。今年の咽頭結膜熱の報告数は例年よりも早い時期(4月中旬～下旬頃)から急増しましたが、5月下旬頃以降は例年と同程度で推移しています(右下図)。

アデノウイルスは感染力が強く、患者が触れたものを介して感染する接触感染や、飛沫感染により感染します。次の事項に注意して、家庭内や施設内での感染を防ぎましょう。

- ✓ 流行時には石鹸と流水で手を洗う頻度を高める。
- ✓ タオルやハンカチ、点眼薬などの共用は行わない。
- ✓ 器具等を消毒する際には煮沸、塩素消毒等を行う。

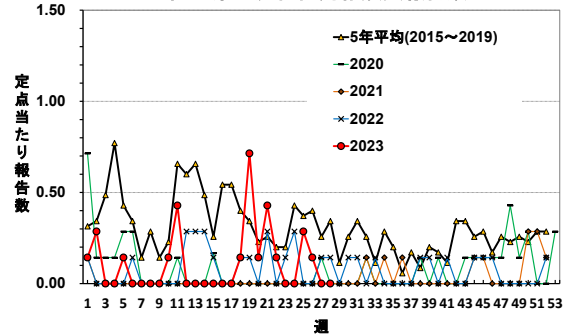
《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 1件(80歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件(30歳代、女性、O103、VT1)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件(60歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 水痘(入院例) 1件(50歳代、女性)
- 梅毒 1件(20歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

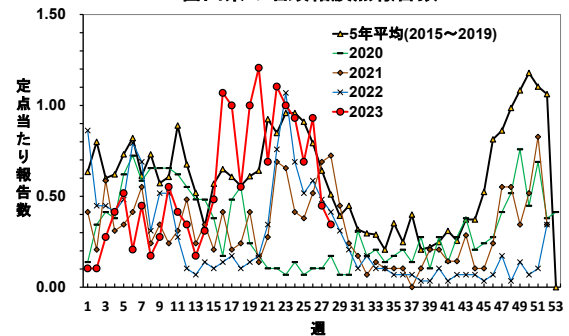
《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	COVID-19	6.04(↑)	4.58
2位	ヘルパンギーナ	4.24(↓)	4.66
3位	RSウイルス感染症	3.55(↑)	3.34
4位	感染性胃腸炎	3.34(↓)	4.76
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.90(↑)	1.83
6位	手足口病	1.17(↑)	1.14

富山県の流行性角結膜炎報告数



富山県の咽頭結膜熱報告数



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第28週 令和5年7月10日～令和5年7月16日）

分類	疾患	今週報告分（第28週）						累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核				1	1	2	5	18	4	46	75	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症				1	1			2		5	7	
	四類感染症	オウム病								1				1
		日本紅斑熱											1	1
		レジオネラ症					1	1	1	1	8	1	6	17
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2
		ウイルス性肝炎								1				1
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症								5	1		4	10
		急性脳炎									1		1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症								5	1		5	11
		侵襲性インフルエンザ菌感染症								1	1		5	7
		侵襲性肺炎球菌感染症								2	3	1	10	16
		水痘（入院例）					1	1		1			4	6
		梅毒					1	1			1	1	12	14
播種性クリプトコックス症								1					1	
破傷風										1			1	
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	1				1	2	793	1,367	3,290	1,127	4,695	11,272
		COVID-19（※1）	0.14				0.06	0.04						
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	42	24	85	58	81	290	358	225	598	374	456	2,011
		咽頭結膜熱	6.00	4.80	6.54	8.29	5.06	6.04						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	1	31	23	43	103	47	78	370	190	406	1,091
		感染性胃腸炎	1.25	0.33	3.88	5.75	4.30	3.55						
		水痘	2	1	5		2	10	56	37	182	40	142	457
		手足口病	0.50	0.33	0.63		0.20	0.34						
		伝染性紅斑	3		23		29	55	38	10	676	3	501	1,228
		突発性発しん	0.75		2.88		2.90	1.90						
		ヘルパンギーナ	19	8	14	11	45	97	593	692	1,226	804	3,864	7,179
		流行性耳下腺炎	4.75	2.67	1.75	2.75	4.50	3.34						
		流行性角結膜炎					2	2	3	13	25	5	53	99
		伝染性紅斑					0.20	0.07						
		突発性発しん	1	2	20		11	34	13	17	138	5	98	271
		ヘルパンギーナ	0.25	0.67	2.50		1.10	1.17						
		伝染性紅斑									1		6	7
		突発性発しん		1	1		3	5	13	23	69	21	46	172
		ヘルパンギーナ		0.33	0.13		0.30	0.17						
ヘルパンギーナ	18	7	45	2	51	123	74	89	568	63	417	1,211		
流行性耳下腺炎	4.50	2.33	5.63	0.50	5.10	4.24								
流行性耳下腺炎							1	1	8	2	7	19		
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎							1		20		1	22	
基幹定点（5定点）	マイコプラズマ肺炎									5			5	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）										5		5	
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）					1	1	3	3	13	18	33	70	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 COVID-19は令和5年第19週（5月8日）～の集計です。

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

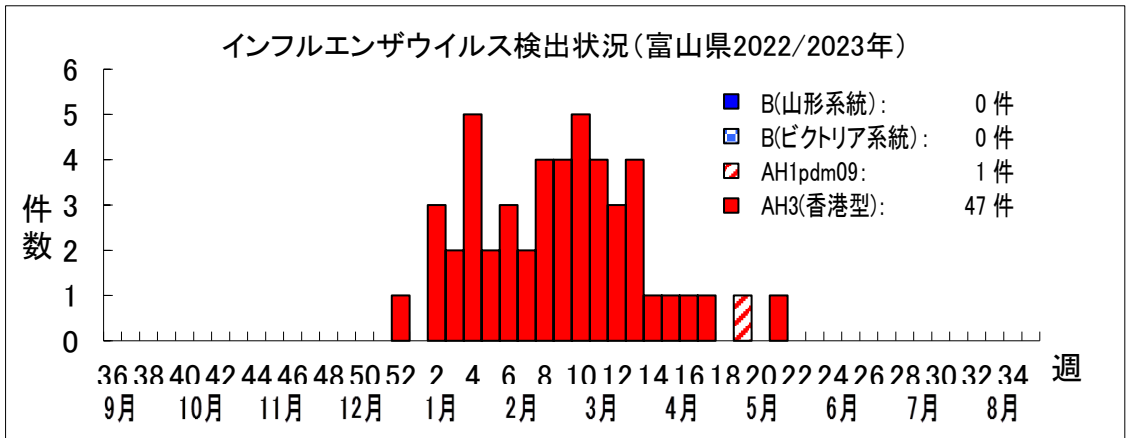
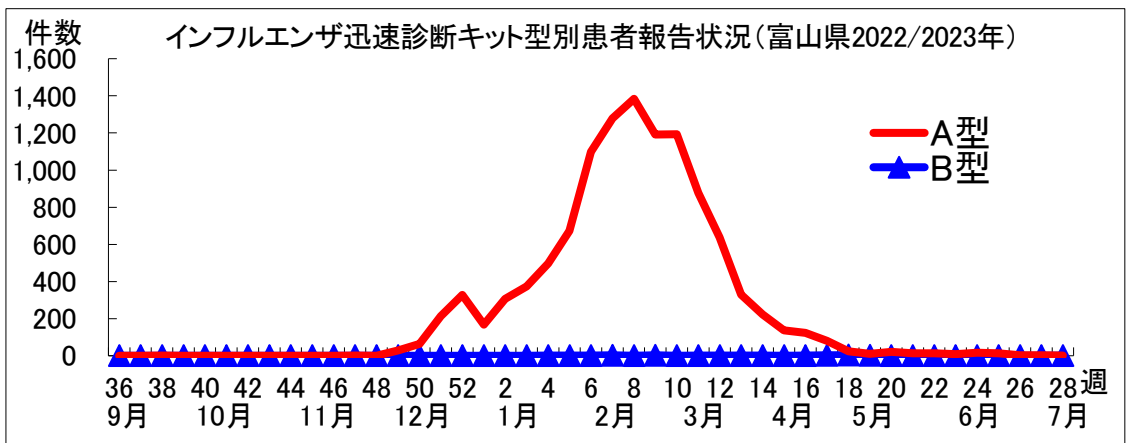
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が50.0%、B型が50.0%となっています。

第28週(7/10~7/16)：富山県 0.04人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	1 / 7	1	0	0	1
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	0 / 13	0	0	0	0
砺波	0 / 7	0	0	0	0
富山市	1 / 16	0	1	0	1
富山県	2 / 48 ^{※1}	1	1	0	2
富山県累計(2022年36週~)		11,327	26	562	11,915

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が2か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



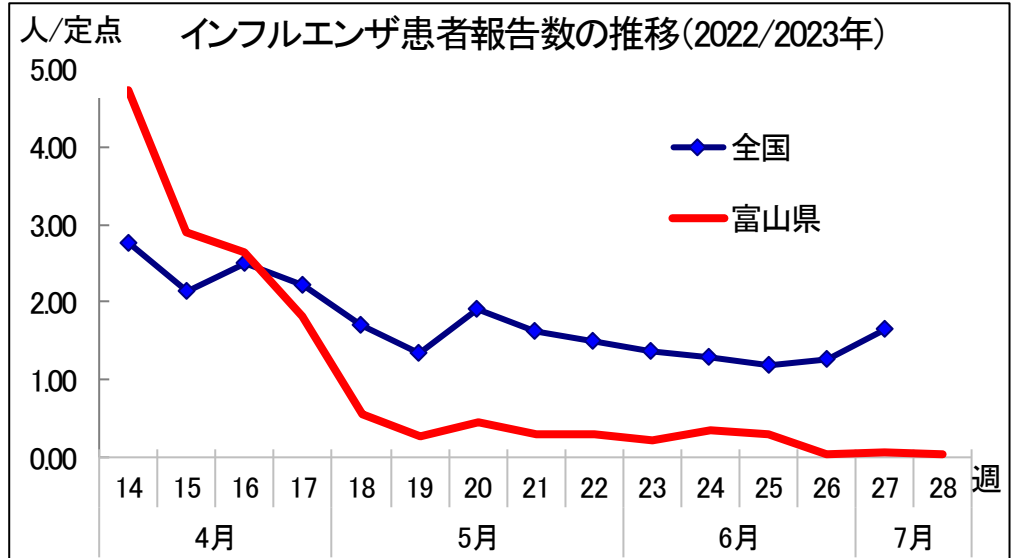


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 28 週 (7/10~7/16) : 富山県 0.04 人/定点

新川 HC (0.14)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (0.00)、砺波 HC (0.00)、富山市 HC (0.06)

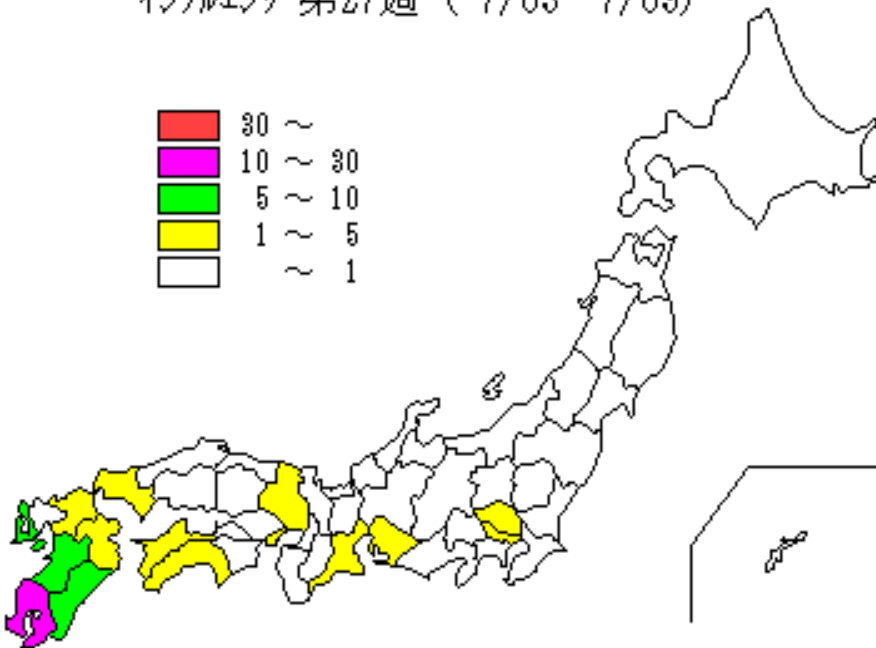
全国の患者報告数は前週に比べ増加しています。県内の患者報告数は流行の目安である 1.0 人/定点未満の低値で推移しています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 27 週 (7/3~7/9)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 1.66 人となり、前週の 1.26 人より増加しました。30 都府県で前週より増加しています。15 道県で前週より減少しています。

インフル第27週 (7/03-7/09)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.11	滋賀県	0.47
青森県	0.00	京都府	0.72
岩手県	0.06	大阪府	0.75
宮城県	0.31	兵庫県	1.69
秋田県	0.10	奈良県	0.35
山形県	0.05	和歌山県	0.43
福島県	0.77	鳥取県	0.21
茨城県	0.64	島根県	0.45
栃木県	0.26	岡山県	0.43
群馬県	0.13	広島県	0.88
埼玉県	1.15	山口県	3.99
千葉県	0.89	徳島県	0.32
東京都	1.22	香川県	0.17
神奈川県	0.56	愛媛県	4.33
新潟県	0.90	高知県	1.11
富山県	0.06	福岡県	1.32
石川県	0.19	佐賀県	0.21
福井県	0.03	長崎県	9.13
山梨県	0.27	熊本県	5.53
長野県	0.15	大分県	3.21
岐阜県	0.21	宮崎県	8.83
静岡県	0.63	鹿児島県	27.31
愛知県	1.58	沖縄県	0.70
三重県	2.64	全国	1.66

○感染症発生動向調査報告状況（令和5年6月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		6月報告分						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症		1	2		8	11		4	10		49	63
			1.00	0.67		2.00	1.10						
	性器ヘルペスウイルス感染症					3	3	1	5	1	1	27	35
						0.75	0.30						
STD定点 (10定点)	尖圭コンジローマ				1		1				4	5	9
					1.00		0.10						
	淋菌感染症			1		3	4		1	1		18	20
				0.33		0.75	0.40						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	3	1	2	10	17	12	7	7	4	76	106
		1.00	3.00	1.00	2.00	10.00	3.40						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1			1			1		4	5
				1.00			0.20						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。